

# 令和3年度学校評価アンケート結果について

## 令和3年度 上成小学校学校評価集計(児童)

A: はい                      B: まあまあいい  
C: そうでもない            D: いいえ

	評 価 内 容	R3 A+B	R2 A+B	R1 A+B	A	B	C	D	E
1	学校へ行くのが楽しい。	88	86	89	59	29	9	4	0
2	授業は、わかりやすく楽しい。	91	87	88	47	44	6	3	0
3	授業では、よく発表したり友達と話し合ったりする。	79	77	66	41	38	16	4	0
4	友達がいる。	97	97	98	90	7	3	0	0
5	よく考えて行動できる。(かंगाえる子)	86	84	84	42	44	11	3	0
6	進んで取り組み、最後までがんばることができる。(がんばる子)	87	85	91	53	34	11	2	0
7	友達にやさしくできる。(やさしい子)	93	92	95	64	29	5	2	0
8	外で元気に遊んでいる。(げんきな子)	87	89	91	67	20	9	4	0
9	安全に気を付けて生活している。	95			76	19	4	2	0
10	家庭や地域・学校であいさつができる。	89	94	90	67	22	9	2	0
11	「ありがとう」とお礼を言うことができる。	97	96		81	16	3	1	0
12	一生懸命にそうじができる。	90	90	94	66	24	8	2	0
13	ルールを守って廊下を歩くことができる。	85	87		46	39	11	4	0
14	学校のきまりをよく守っている。	93	92	94	64	29	5	2	0
15	先生は、話をよく聞いてくれる。	94	94	93	75	19	4	2	0
16	先生は、がんばってことやよくできたことをほめてくれる。	92	92	86	75	17	6	2	0
17	早寝・早起き・朝ごはんが守れている。	79	83	81	50	29	14	7	0

## 令和3年度 上成小学校自己評価票(保護者用)

A: よくあてはまる

B: ややあてはまる

C: ややあてはまらない

D: あまりあてはまらない

E: わからない

(%)

	評 価 内 容	R3 A+B	R2 A+B	R1 A+B	A	B	C	D	E
1	子供たちは、学校へ行くのが楽しいと言っている。	84	84	87	36	48	7	8	0
2	子供たちは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	73	79	86	23	50	13	8	6
3	子供たちは、よく発表をしたり話し合ったりできている。	68	67	67	19	49	13	12	8
4	子供たちは、友達がいる。	94	93	98	62	32	4	2	0
5	子供たちは、よく考えて行動できる。(かんがえる子)	77	81	82	18	59	15	4	4
6	子供たちは、難しいことでも進んで取り組み、最後までやり抜くことができる。(がんばる子)	72	74	88	19	53	17	7	4
7	子供たちは、素直で思いやりがある。(やさしい子)	91	89	95	39	52	8	0	1
8	子供たちは、明るく元気で活力がある。(げんきな子)	93	91	93	52	41	6	1	0
9	子供たちは、安全に気を付けて生活している。	87			29	58	9	3	2
10	子供たちは、家庭や地域・学校であいさつができる。	77	81		26	51	14	7	3
11	子供たちは、「ありがとう」とお礼を言うことができる。	90	86		37	53	7	1	1
12	先生は、子供たちの話をよく聞いてくれる。	77	80	87	30	47	8	4	11
13	先生は、子供たちのがんばったところやよくできたことをほめている。	81	82	87	41	40	6	3	10
14	先生は、先生にふさわしい服装や言動がとれている。	85	89	94	56	29	3	2	10
15	わが子が、「早寝・早起き・朝ごはん」ができるようにサポートしている。	89	84	92	42	47	8	3	0
16	保護者や地域住民としてPTA活動や地域の行事に進んで参加している。	50	63	72	12	38	22	24	5
17	わが子以外の子供にも、あいさつなどの声をよくかけている。	81	80	88	29	52	13	5	1
18	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	78	75		26	52	7	1	14
19	学校は、子供たちの学力を伸ばそうと努力している。	75	78		26	49	7	4	13
20	学校は、子供たちが安全に過ごせるよう配慮している。	89	85		38	51	3	1	8
21	学校は、子供たちに命や人権を尊重する意識を育てようとしている。	77	79		28	49	8	2	13
22	学校は、家庭との連携や意志疎通をきめ細かく行っている。	71	72		23	48	16	7	4

### 1 保護者アンケートの結果より

#### (1) 肯定的な数値が高かった項目

- ・ A,B の合計が80%を超えている項目・・・1, 4, 7, 8, 9, 11, 13, 14, 15, 17, 20

#### (2) 肯定的数値が低かった項目

- ・ A,B の合計が80%未満の項目・・・2, 3, 5, 6, 10, 12, 16, 18, 19, 21, 22

※9は本年度から加えた項目

### (3) 具体的な項目の分析

- ・ 2の項目:本年度は、授業への「参加しやすさ」や「分かりやすさ」に授業改善の視点を置き取り組んできましたが、昨年度の数値より6ポイント低くなっています。児童アンケートの「授業はわかりやすく楽しい。」では、児童は、1学期末において88%、12月において91%肯定的に捉えています。課題解決に向けての見通しをもった上で一人学びの時間をとることや、考えを比べたり共有したりするグループでの話合いの場を設定することなどの授業づくりを心掛けた成果でもあったと考えられます。また、ICT 機器を活用した授業時間も増えています。
- ・ 10の項目:保護者アンケートは肯定的な評価が77%と昨年度より4ポイント低くなっています。自由記述に、「朝の当番であいさつしても返す子が少ない。」、「あいさつやお礼を言えない子供が多いです。きちんとできるようにしてほしい。」などの御意見をいただきました。本年度、取組の重点として「あいさつ(誰にでも進んで明るく元気に)」とし週のめあてにするなど、繰り返し指導しています。引き続き取り組んでいきます。
- ・ 11の項目:「上成小 AAAA」の項目に取り上げ取り組んできました。感謝の気持ちを持ち、素直に表現できるのは本校児童のよさだと思います。
- ・ 14の項目:保護者アンケートは肯定的な評価が85%でした。令和元年度94%、令和2年度89%と低くなっています。自由記述に、「子供のやる気をなくすような発言は避けてほしい。」、「自然と子供たちがまねしてみたくなるような恥ずかしくない信頼される言動を心掛けてもらいたい。」などがありました。信頼される教職員であるべく、教職員一同、自己を振り返りつつ指導にあたっていきます。
- ・ 16の項目:PTA 活動や地域の行事への参加については、中止となるが多かったため本年度も数値が低くなったと考えられますが、自由記述に、「様々な行事や体験がもっとできると、子供たちも、もっと経験豊かな学校生活になると思います。」という御意見をいただきました。

### 2 その他の御意見(自由記述) ※同様な御意見をまとめているものもあります。

#### ○育てたい子供について

- ・ 思いやりとやさしい子、親切な子、困っている人がいると助ける子、みんなと仲良くできる子に育てたいです。
- ・ おおらかに、ほがらかに育てたいです。
- ・ 自分で考える、失敗してもくよくよしない、自分で這い上がるたくましい子供に育ててほしい。
- ・ 物を大切に使う、弱いものいじめをしない、暴力を振るわない、わからないことを伝えられる子供になってほしいです。

#### ○生活

- ・ 【登下校】まずは家庭で躰をするべきだが、登下校のマナーが悪くなっている。  
⇒ 交通ルール、マナーは交通教室や通学班会で学習したり、話し合ったりしています。また、長期休業日前には、くらしのめあてとして指導しています。学校と家庭・地域がそれぞれに取り組むことで子供たちの安全なくらしを守ることにつなげていきたいです。
- ・ 【名前の呼び方】友達同士、呼び捨てになっていることが気になります。友達の名前を大切にすることは、人権を大切にすることにつながるのではないのでしょうか。  
⇒ 友達は「さん」をつけて呼ぶことを生活実践目標に取り上げて指導しています。2月にも人権週間を設定し、取り組む予定です。
- ・ 【給食】安全・安心でおいしい給食をお願いしたい。
- ・ 【トイレ】衛生的なトイレの使い方、掃除にしてほしい。

## ○問題対応

- ・ 問題が起きた時一人一人の話をしっかり聞いて答えを導くようにして曖昧にしないほしい。
- ・ いじめ問題で本人は言えないものです。いじめをみのがさないようにし、楽しい学校生活を送れるよう願っています。  
⇒ まず、話を聞き事実確認をします。担任一人ではなく、学年主任や生徒指導主事等と一緒に対応します。個人への指導や必要に応じて学級・学年および全校に指導する場合があります。保護者の方には事実と指導内容、今後の対応などについて連絡・相談しています。いじめについては、アンケートや教育相談を実施し早期発見・早期対応を心掛けています。

## ○危機管理

- ・ 地震など災害が起きた場合、すぐに子供を引き取りに行くことができないこともあるので不安です。学校ではどのような対応となるのか知りたいです。  
⇒ 迎えに来られるまで学校で待機するようになります。地域の避難場所にも指定されています。地震に対しては、校舎の耐震工事は済んでいます。津波に対しては、各棟の最上階に「垂直避難」をします。

## ○教育課題

- ・ 多様性の時代、学校が様々な特性をもつ子供たちにとって過ごしやすい場所であることを願います。様々な障がいに対して理解のある子供たちが増えることを願います。
- ・ 今の学校生活になじめない子がたくさんいる現在、多様な選択ができる学校生活があれば、子供ものびのび生きれるのではないかと。
- ・ 学校依存型の傾向があるが、家庭環境整備の必要性和教職員の質の向上の必要性、両方がうまく機動しない限り子供が教育の犠牲になっていく。教科書の重要性和日常生活を結び付けた発展的かつ柔軟な教育、バランスよく丁寧に先を見越した教育が課題ではないかと考える。
- ・ 毎日行きたいと思える学校に。

## ○コロナ禍

- ・ コロナ禍でいろいろ制限があり子供たちにもなにかと窮屈な思いをさせています。学校で少しでもストレス発散、友達や先生と思い切り楽しめるなにかがあるとありがたいです。
- ・ コロナ禍で行事の変更になるとき、園と行事が重なることがあります。
- ・ 宿泊学習が中止になりました。集団のよさ、みんなで力を合わせてやり遂げることの大切さを感じることでできる経験をさせてほしい。
- ・ コロナ禍で教育も大変な中、先生方のアイデアと優しさで充実した学校生活を過ごしています。

たくさんの御意見をいただきありがとうございました。